

「QRコード」は、株式会社デン  
ソーウェーブの登録商標です。

## 校長室通信

～ハートフル門小～

令和7年度 第7号（令和7年11月14日発行）



R7教育目標：自ら学び 心豊かに たくましく生きる 子どもの育成 ⇒ 「知恵いっぱい・心いっぱい・汗いっぱい」

## やればできる門小っ子！

～10月全校朝会の話～

今年の運動会から復活させた  
1年児童誓いの言葉【開会式】

今年の運動会は、インフルエンザ流行等の影響により十分な練習ができずに、不安のなか本番を迎えるました。あれこれ比較すれば切りがありませんが…、子ども達は「やればできる門小っ子」を發揮し、全体的に見れば成功させることができたのではないかでしょうか。翌々日（10月21日）の全校朝会では、その要因として、①一人一人が練習以上の力を出し切ったこと、②児童の係やPTA、門高生ボランティア等の協力、③団長・副団長等のリーダーシップ…等があったことを全校児童と一緒に振り返りました。

一つ注文を付けるなら…ということで、「練習で本気が出せないのはもったいない！」という話もしました。運動会前の学年練習や全校体育の様子を振り返ると、正直なところ、真剣さに欠ける子たちや「本番だけ頑張ればいい」という考え方の子たちが一定数いました。本番だけ頑張る子…恐らくそういう子たちは、普段から勉強や生活の面でも面倒くさいことから逃げて、本気になる機会が少ないのでないかと思います。持っている力を伸ばす機会を自ら放棄し、つくづく“もったいない”と思います。“試合に向けて練習するから上達する”“テストに向けて勉強するから実力が付く”のです。そして、「もっといい走りを！」「もっといい踊りを！」と更なる高みを目指すことが、人間として大きく成長していくことにつながるのだと思います。本番で1等賞をとるかどうかよりも、本番で一番いい走りを見せるために、練習でどう頑張ってきたかが大切なのではないでしょうか。

## 全国学力・学習状況調査（6年生4月実施）の結果から…

～国語編～

7月に結果が届き、「6年生の結果は学校全体（全学年）の結果」という認識のもと、夏休み期間に全職員で実際に問題を全て解いてみた上で、結果の分析を行いました。国語は、残念ながら全国平均を上回る問題はありませんでした（全14問中）。全国平均を大きく下回った問題の分析内容は、以下のとおりです。

番号	問題の概要	正答率	出題の趣旨
① 一	【話し合いの様子】における小森さんの傍線部の発言を説明したものとして適切なものを選択する。 ※ 傍線部の発言・・・「仕事で大切にしていること」で話してくれたことをきっかけにして、「仕事で大変なこと」を聞くことができるかもしれないよ。	25.8 全国との差 -27.5	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかを見る。
② 三	【ちらし】の二重傍線部（手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。）を、【調べたこと】を基に詳しく書く。 <条件> ① 【調べたこと】の「本を読んで分かったこと」「使ってみて分かったこと」のそれぞれから言葉や文を取り上げて書くこと。 ② 60字以上、100字以内にまとめて書くこと。	38.7 全国との差 -22.6	目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかを見る。
③ 三 (2)	【資料1】を読み返して言葉の変化について自分が納得したことを、【資料2】【資料3】【資料4】に書かれていることを理由にしてまとめて書く。 <条件> ① 言葉の変化について納得したことを【資料1】から言葉や文を取り上げて書くこと。 ② 納得した理由を【資料2・3・4】の中から選び、言葉や文を取り上げて書くこと。	35.5 全国との差 -20.8	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかを見る。

## 考 察

## 今後の対策

- 簡単な文章でも、長い文章を読み取ることに苦手意識がある。
- 同時に複数の資料の内容を整理して読み取ることに苦手意識がある。
- 条件に合わせながら長い文章を書くことに苦手意識がある。
- 自分の考えを表現させる場を多く設ける。
- 分からない言葉は、辞書やタブレットを使って積極的に調べさせる。
- □□文字以上△△文字以内で表現するといった条件付きでまとめる練習をさせる。

※ 11月28、29日は学力調査（4年生は「みやざき学力調査」、他の学年はCRT）です。テスト前にはテスト勉強する習慣付けを！

## 最後の訓練は“てんでんこ”に避難！

\* 詳細は裏面参照 ⇒ ⇒ ⇒

町内の小中学校で、毎年一斉に行っている下校時を想定した地震・津波の訓練を12月9日（火）に行います。町内で一斉に行う訓練は、今年度が最後の予定です。また、昨年度までは毎年、集団下校中の訓練でしたが、今年度は普段どおりの下校（個人や友達同士での下校）を想定した訓練に挑戦します。

これまで、各地区の上級生が下級生をリードして班ごとに避難場所を決め、避難していましたが、今年度は、1年生も自分達で考えて判断し、避難することが求められます。特に、低学年の児童が安全に避難するためには大人の見守りも必要ですので、保護者の皆様も都合が付かれる方は交差点や交通量の多い場所等に立って見守ったり、一緒に避難したりしていただけると大変ありがたいです。

また、地域の皆様や企業・事業所等の皆様には、学校の行事に協力するというよりは、学校の行事に乗っかって、自分の地区や企業・事業所等の訓練として活用していただけるとありがたいです。最後の一斉下校時避難訓練、幼児から高齢者まで多くの参加を期待しています。てんでんこに逃げてください！